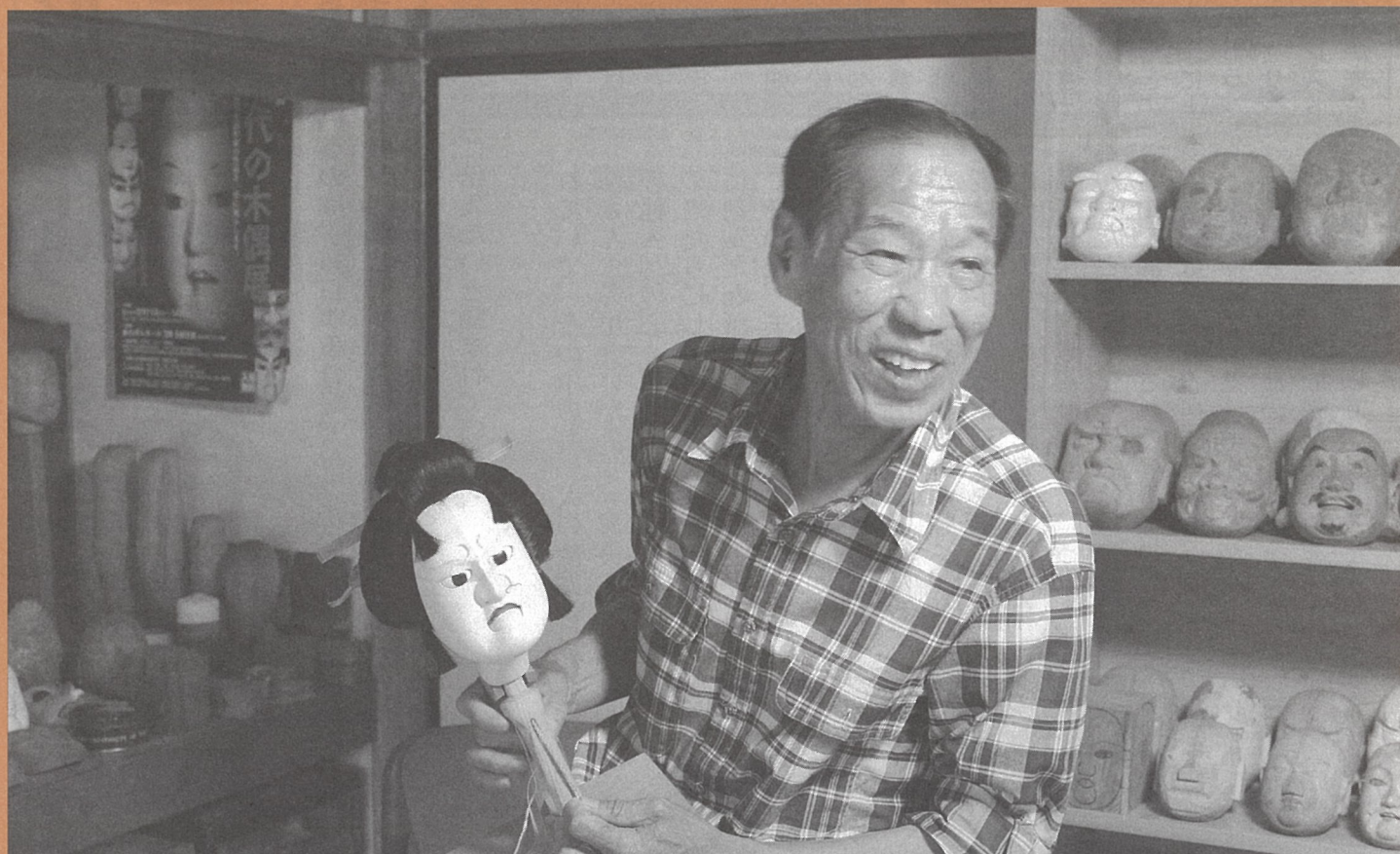


讃岐香川の様々な文化発展を応援します。

文化通心

2014
秋

9月1日発行(季刊)



讃岐で浄瑠璃人形を作る

伝統的な人形浄瑠璃を残している地域は、香川にもたくさんあります。直島の女文楽。円座の香翠座はデコ芝居。三豊は人形浄瑠璃・讃岐源之丞保存会。それぞれ後継者の育成や保護に苦労しています。細谷氏は香川の人形師として協力したいと考えておられます。

(2、3頁に関連記事)

キボリ工房・細谷隆治氏の仕事

きもので暮らす素敵な日常

9月から11月までの茶華道・イベント情報

財団賞決定のお知らせ

83

発行・公益財団法人中條文化振興財団
〒760-0017高松市番町2丁目1番12号
TEL.(087) 826-3355 FAX.(087) 826-2212

浄瑠璃人形を作ってみませんか？

キボリ工房・細谷隆治氏の仕事

伝統文化の保護や継承というのは、あらゆる分野でむつかしい時代をむかえています。表舞台はもちろん、それを支える職人さんたちも状況は同じです。今回、取材させていただいた細谷氏は、香川県で浄瑠璃や文楽で使う人形を作る職人です。ほとんどが阿波の職人さんと言う世界ですので、讃岐では珍しい存在ですが、これまでの技術や経験を後世に伝えたいと望まれています。

中学生の時、京都で開催されていたロダン展を見に行き、そのすばらしさに感激し、彫刻の道に進みたいと思った細谷氏。それから今に至るまでをまず紹介します。

高校生になって、彼の思いを知っていたおじさんに勧められ、高松市立美術館（当時は栗林公園にあった）主催の彫刻のワークショップに参加したのが始まりだと話される。師匠はどなたですか？との問いに「新田藤太郎さん（糸より姫のブロンズ像の制作者）です」と答えてくださった。しかし、前出のおじさんに、彫刻ではなかなか生活できないぞとのアドバイスもあり、高校卒業後に上京。某放送局近くの有名レストランでアルバイトをしながら、デッサンや絵を描く日々を送る。そのレストランには多くの芸能人の方々が来ら

れていて、その中のお一人の故渥美清さんとの出会いがあり、渥美さんの他人への心くばり・思いやりを目の当たりにして、その人柄を深く心に刻んだと話す。

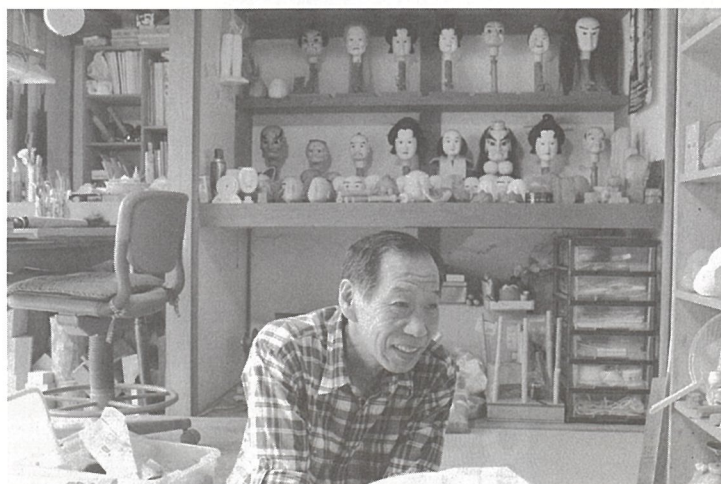
その後、デザイン会社に就職、店舗デザインなどを手掛けていたが、そこを辞めて帰高しインテリアデザイン関係の仕事を二十年ほど続けるが、やはり彫刻への思いが強く、今度は、弟子をとる彫刻家を探し、富山の横山豊介（牛の彫刻家として有名）に弟子入りが叶い非常にうれしかったと話す。三年間の修行中には、富山で縁起物とされている天神さんの像を数多く彫り研鑽を積む。

再び帰高し彫刻に取り組むが、自分が生きた証しとして、作品を残したいと思い、人形制作を始める。それはどのようにして？と聞くと、人

形の修理依頼が来た時、預かっている間に、寸法取りし図面を描き、そ



富山の修業時代に作った獅子



キボリ工房ではたくさんの頭に囲まれる

れと同じものを彫り、預かった人形はきれいに修理してお返りする、この繰り返しで習得していったと事もなく話す。そして「作図は、お手のものだからね」と笑う。こうして作られた資料は大切に整理されていて、「人形を制作したいと志す人がいれば、喜んで提供する」と熱く語る。

人形について何うと、表情は基本的なものはあるが、最終的には自分好みになっていくらしい。やはり、目を書き込む時が難しく、製作者を見ているようにしないと左右に離れ



八百屋お七の人形



技術を後世に残していくために、文楽の人形の頭をすべてきちんとした図面に残したいと描かれた図面。

それぞれの頭について、木取りから、粗彫り、仕上げまでを現物の制作過程がわかるように見本を作って残している。

て変になってしまふのだそうだ。しかし、人形は顔だけではない。髪型も髪飾りも衣装も必要となる。そして、また、細谷氏の勉強に熱が入る。浄瑠璃だけでなく文楽も観に行くし、資料本の収集もする。

髪型は男女・大人と子供・時代などで異なるので、集めた資料で学び自ら結髪する。櫛・かんざしなどは京都に出かけて行って購入する。衣装だけは、自分で縫えないので、制作依頼しているが、時代考証も含めて制らなければいけない難しさがあり、今、依頼している方が高齢なので、後継者の問題があるとも話す。

「自分が制作した人形は寄贈するつもりでいる。それも飾りや置物としたい人ではなく、実際に人形として操ってくださる所(団体)」と話す。二体の人形を操るのは、最低三人は必要、一つの段を上

演するとなると、少なくとも人形二体、浄瑠璃、三味線などで、十人は必要。この十人が心と思いを一つにして演じなければ、舞台は成り立たない。伝統芸能の伝承だけでなく、この心を合やすことの大切さを子供

さんたちに体験して、知ってもらうために、人形を寄贈していく。これから、こども会やクラブ活動などで人形を必要とされる所があるなら、喜んで寄贈し協力する。こうした取

り組みを通じて、人形浄瑠璃の後継団体が生まれることが私の望みです。糧を得るためには彫らない。

順調にいけば、一年に二体は制作できる。体力の続く限り制作していくつもりなので、どんな小さな団体でもいいので、人形浄瑠璃をしたいという所があれば、是非、申し出て欲しい」これが細谷氏の望みです。

彼の「後継者が欲しい！」は、自分の人形制作だけではなく、香川の人形浄瑠璃界をも意味している。

秋には、どんぐりの落ちる音が聞こえ、夏には庭先にほたるが飛んでくる静かな高松市郊外に工房を構えている細谷氏。今、二年に一度、開催される展示会に向けて、五体の人形の制作中との事。しかし、まだ夢があると語る。

「文楽の人形のすべての首の図面を制作し、資料として残したい。そのために、これからは、文楽界にコンタクトを取って行こうと考えている。難しいかもしれないけどね」熱い思いは一向になくならない細谷氏でした。

伝統文化を伝える

きももので暮らす素敵な日常

「和工房あき」は高松市の田町商店街で、きもの屋さんを経営しながら、着付けや和裁教室、日本舞踊、三味線、茶の湯など、着物に関係する文化に触れる機会を幅広く企画され、若い女性を中心にファンを集めています。

こうした企画を推進する女将さんに、今回は、きものでお出かけするツアーと子供向けのワークショップについてご紹介いただきました。

長い間眠っていた蟬達が一斉に鳴きだす七月も後半、毎年第三土日に土佐赤岡絵金祭りが行われます。

ある方のブログで拝見した『絵金』（絵師、金蔵の略）が描く数々の屏風絵の写真。薄暗い通りに蠟燭で照らされ、なんとも言えないおどろおどろしさを醸し出していました。この写真との衝撃な出会いから、いつかこの赤岡の町へ行って本物を見てみたいという衝動に駆られ早一年。今年、その念願を果たす事が出来ました。

高松から貸し切りバスで約二時間半、途中のパーキングエリアで産地土産などを見ながらの移動はあつという間の距離です。たどり着いた赤岡の町は昭和の趣もあり、散策するにもコンパクトで数時間内に充分



廻ることが出来ます。到着したのが昼過ぎという事もあり、まだ町には人影もなく、本当に今日お祭りがあるのか？とも疑うような静けさです。

夜にはまだ時間も残り、まずは『絵金』について勉強することに致しました。この赤岡町の中心部にあります『絵金蔵』、百数十年前に描かれた絵金の屏風を展示しております。絵師金蔵、もとは土佐藩家老桐間家の御用を勤める狩野派の絵師がなぜこの赤岡の地に辿り着いたのか？など映像解説を二十分ほど見て施設内を見学すると屏風絵からの想いがより身近になります。

何より贅沢なのは、当時描かれた屏風絵がガラス越しでなく間近で見られる事。かなり傷んだものもありますが、じつとその屏風絵を眺めていると絵に込められた絵金のメッセージや当時の生活文化が伺えます。

小一時間ほど蔵で絵を堪能した後、地元五代目が経営する酒蔵や元禄初年に創業されたという菓子舗『西川屋』を見学。どちら也快く店内や酒蔵を開放し、店主からはこの土地に伝わる話や絵金について語って頂きました。見学後の振る舞い酒には女性陣も嬉々とし、すっかり手土産に地酒を購入致しました。

夕方からは、町内にある弁天座という廻り舞台や花道もある芝居小屋へ参りました。地元の有志による浄瑠璃三番叟や歌舞伎など三演目が無料で観劇できます。また新しい小屋ですが、小さいながらも枡席や定式幕が本格的な情緒を生み出しています。またここでも振る舞い酒が！飲みながら観劇するのも乙なものです。

歌舞伎芝居を堪能し弁天座の外に出ると、すっかり陽も暮れ、もうそこは別世界。昼間見た景色とは全く違う賑いと蠟燭に照らし出された屏風絵が通りのあちらこちらに飾られています。とても貴重な絵であるにも関わらず家々の前に囲いもなくそのまま置かれています。絵金の描く赤は鮮やかな色から『血赤』と呼ばれ、その赤が魔よけとして家を守ってくれると信じられているそうです。

明るい時とは違った妖艶な雰囲気を感じ出し、絵と町が溶け込み時代を超えた空間となります。

このように私達の身近なところで、地域に伝わる文化や先人の残したものがたくさんあります。実際に見て体験をする事でより真実を知り、それを次の世代に渡せるのではないのでしょうか。

私たちの民族衣装、『着物姿』もその一つ。これも身近な人が着ている事で影響を受け子、孫へと繋がっていくような気がいたします。新しいものばかり求めず、先人の知恵や工夫を更に現代の私たちが工夫を凝らし次世代へと譲って行く。そんな自然な流れが出来ることを祈っております。

伝えるというところでは、今年で二回目になります『夏休みだよ！子供たち集合』と題して、草木染め体験を開催しました。

財団行事予定

(九月～十一月)

九月

◆和菓子講座 高橋初乃先生

九月十二日(金)午前十時～十二時

月に一度の喫茶室 毎月第三火曜日

九月十六日(火)午前十時～午後四時迄

自由なお時間にお出掛け下さい。

ランチは要予約です。

◆九月月釜 五人様茶会

日時 九月二十八日(日)

処 美藻庵 晴松亭(当財団茶室)

席主 濃茶席 表千家流 山地宗美

薄茶席 表千家流 美澤宗包

茶席 濃茶・薄茶・点心席

会費 五千元

入席時間ご案内(各席二時間十五分を予定)

第一席 A席・B席 九時

第二席 A席・B席 十時三十分

第三席 A席・B席 十一時十五分

第四席 A席・B席 十二時四十五分

◆ヤングヤング(子供茶の湯講座)

毎月第二・第四土曜日

山下純子先生

九月十三日(土)・二十七日(土) 午前十一時～

十月

◆財団賞授賞式助成金交付団体認定書授与式

十月一日(水)午前十時三十分～

◆懷石講座 三友居 山本勝先生

十月七日(火)午前十一時～午後三時

◆和菓子講座 高橋初乃先生

十月十日(金)午前十時～十二時

月に一度の喫茶室 毎月第三火曜日

十月二十一日(火)午前十時～午後四時迄

自由なお時間にお出掛け下さい。

ランチは要予約です。

◆ヤングヤング(子供茶の湯講座)

山下純子先生

十月十一日(土)・二十五日(土) 午前十一時～

すぎたるは

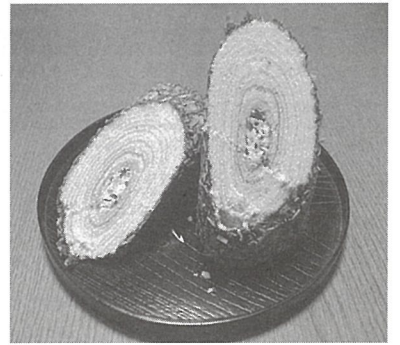
姫路城の大手守保存修理も左官工事が終わり周囲の外壁が撤去され修復された天守閣が姿を現したということで改修工事見学以来一年ぶりに訪れました。

屋根瓦に新しく塗られた真っ白な漆喰が眩しく、文字通り白鷺城と納得しましたが地元では賛否両論だそうです。

帰り際に友人にいただいたのが杵屋の「書写千年杉」。姫路の書写山にある圓教寺の住職から依頼され、バームクーヘンの中に小倉餡と柚子餡を流し込み、まわりをチョコレートでコーティングし、アーモンドスライスとココアで飾り境内に佇む杉の太木に見立てた銘菓である。

バームと餡、そしてアーモンドの風味が絶妙なバランスで、日本茶にも珈琲にも合う和菓子とも洋菓子ともつかない逸品である。

白鷺城の真っ白な漆喰も時空を超えた銘菓になるには千年とは言わずとも百年単位の時が必要なのだろうか。



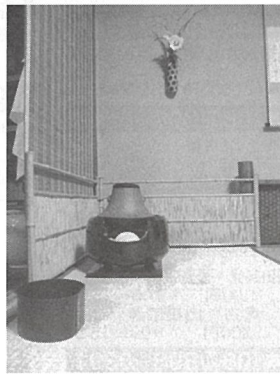
くにももの (15)

讃岐三白・砂糖菓子

お米が経済の根幹をなした江戸時代、特産品の塩、砂糖、綿は讃岐三白と数え上げられ、讃岐の台所事情を大いに潤したと言います。

しかし、砂糖は藩にとって外貨獲得の大切な商品。容易に庶民の口に入るものではなかったのですが、せめて正月ぐらいはと殿様のお許しが出て、全国に有名なあん餅雑煮が誕生したといわれています。現代においては、昔ながらの霞三盆糖が茶菓子やおみやげに重宝され、商品パッケージ(杉曲げ輪)に漆を塗って茶道具の建水に使われるのを見ることがあります。

雨滴聲の季節、高松市桜町の裏千家・新開宗栄さんのお茶室で大西清右衛門作の坐忘斎家元御好、素銅「三盆入建水」を拝見しました。漆を思わせる金属肌の風合いや桜皮で縫い止めた形のリアルさなど、例の：と見まごう雰囲気でしたが、お家元のご意向で軽くするのに苦心されたとかの裏話、それから更にこれはね、清右衛門さんが釜をお掛けになった財団の茶会で一目惚れして求めたのよと、につこりした内輪話の披露もありました。



今回は小学一年生から五年生の子供たち十一人と保護者の方、総勢二十三人参加頂きました。昔は草木で着物が染められていた話から実際に生藍の葉を使った、たたき染めや紫根を使った絞り染めを試みるという体験。身の回りでは製品化した物しか見る機会が少ない昨今、出来上がるまでには様々な手がかかってくるという事を知り興味を持ってもらうことが今回の醍醐味。子供たちの達成感に満ちた目は間違いなく思いが伝わったと実感致します。

私達はこれからも身近に出来ることからたくさんの方に和の文化にもっと興味を持って貰える機会を作って参りたいと思います。とにかく今の和事のイメージは敷居が高い。それを低く、まずは誰もが体験できる窓口が必要ではないかと思えます。それから深めて行けば良いのではないのでしょうか。日本の未来は子供たち、そしてこれから生まれてくる命を、私たちが出来る事からのサポートで繋がって行くような気がいたします。(和工房あき 安藝 美香)

十一月

◆茶事と五人様茶会

京都 円山公園にある蘇鐵庵 水守清隆氏が久しぶりに釜を懸けてくださいます。濃茶で炉開き、薄茶で名残りの幅広い道具の取り合わせとのこと。私共も楽しみにしています。毎回好評の茶事とは別に、気軽に参加いただける五人様茶会も設けてくださいました。

亭主 表千家流 蘇鐵庵 水守清隆
処 美藻庵 晴松亭(当財団茶室)

茶事

日時 十一月一日(土)

正午の茶事 午前十時三十分～

夜咄の茶事 午後四時～

会費 二万五千元(各定員十名)

五人様茶会

日時 十一月二日(日)

茶席 濃茶・薄茶・点心席

会費 一万円

入席時間 九月五人様茶会と同様です

和菓子講座 高橋初乃先生

十一月十四日(金)午前十時～十二時

月に一度の喫茶室 毎月第三火曜日

十一月十八日(火)午前十時～午後四時迄

自由なお時間にお出掛け下さい。

ランチは要予約です。

◆ヤングヤング(子供茶の湯講座)

山下純子先生

十一月八日(土)・二十二日(土) 午前十一時～

ト深庵 木津露真襲名披露茶会

日時 十一月三十日(日)

処 美藻庵 晴松亭(当財団茶室)

茶席 濃茶・薄茶・点心席

九時から各席五十分・一席十名を予定

詳細が決まり次第別途ご案内致します。

「月に一度の喫茶室」以外は予約が必要

です。お申し込み、お問合わせは、

当財団事務局まで(水曜日休館)

高松市番町二丁目一十二

☎(087) 8269・3355

茶 華 道 ガ イ ド

一茶庵流 ☎(087)835-3140

11/9 平成26年度 栗林公園 月釜
席主：文人会一茶庵香川県支部
掬月亭 前売600円・当日700円 9:00~15:30

江戸千家不白会香川支部 ☎(087)851-5330

9/14 栗林公園 月釜 席主：香川支部
掬月亭 600円 9:00~15:30

表千家同門会香川支部 ☎(087)845-4638

9/14 表千家流四季茶会 席主：大山宗美
中條文化振興財団 600円 9:00~15:00
11/9 表千家流四季茶会 席主：三好宗千
中條文化振興財団 600円 9:00~15:00

香川大学表千家流茶道部 ☎(080)6380-7172

9/21 月釜 龍光塾 500円 9:30~14:00
10/19 月釜 龍光塾 500円 9:30~14:00
11/16 月釜 龍光塾 500円 9:30~14:00
11/30 香川大学表千家流茶会
玉藻公園披雲閣 料金・時間未定

琴平月釜茶会 ☎(0877)58-9551

9/14 月釜 席主：竹井恵子(武者小路千家)
松尾寺 500円 9:00~15:00
10/10 金刀比羅宮例大祭奉賛茶会 席主：田中宗武、
片桐宗恵、上杉宗邦、宮武宗隆(裏千家)
アクト琴平 200円 10:00~15:00

茶華道一茶流久松会 ☎(087)881-1313

10/5 一茶流久松会茶と花会 席主：角陸一彰
玉藻公園披雲閣 1,300円 9:30~15:00

茶道裏千家淡交会香川支部 ☎(0877)58-9551

9/21 丸亀分会 月釜 席主：香川宗美
丸亀生涯学習センター2F 500円 10:00~15:00
9/7 坂出分会 月釜 席主：山地宗敦
坂出労働福祉センター 500円 10:00~14:00
10/5 丸亀分会 月釜 席主：為定宗友
丸亀生涯学習センター2F 500円 10:00~15:00
10/6 多度津分会 親月茶会 席主：多度津分会
町民会館2Fホワイエ 300円 17:30~20:00
10/10 善琴分会 金刀比羅宮例大祭奉賛茶会
席主：琴平教授者
アクト琴平 200円 10:00~15:00
10/19 坂出分会 月釜 席主：横田宗加
坂出労働福祉センター 500円 10:00~14:00
11/2 多度津分会 芸術展協賛茶会 席主：多度津分会
総合福祉センター2F 500円 9:00~15:00
11/2 善琴分会 月釜 席主：和善会
樟蔭軒 500円 9:00~14:00
11/16 観音寺分会 文化の茶会 席主：観音寺教授者
働く婦人の家 500円 10:00~15:00

11/3 丸亀分会 芸術協賛茶会 席主：丸亀分会
丸亀生涯学習センター2F 500円 10:00~15:00
11/16 善琴分会 護国神社新嘗祭 席主：善通寺教授者
護国神社 500円 10:00~15:00
11/16 坂出分会 秋季茶会 席主：秦宗孝
翠松閣 500円 10:00~15:00

茶道裏千家淡交会高松支部 ☎(087)886-5668

9/7 裏千家 淡交会 月釜 席主：川原宗津
天神会館 前売600円・当日700円 9:00~15:00
9/21 由佐城 月釜 席主：小倉宗貴
由佐城 400円 9:30~14:00
10/5 裏千家 淡交会 月釜 席主：岡 宗久
天神会館 前売600円・当日700円 9:00~15:00
10/5 裏千家学校茶道子供茶会 席主：山田宗美
香川県文化会館4F 400円 10:00~16:00
11/2 裏千家 淡交会 月釜 席主：正箱宗英
天神会館 前売600円・当日700円 9:00~15:00

茶道石州流琴松会 ☎(087)888-5311

10/12 栗林公園 月釜 席主：茶道石州流琴松会
掬月亭 前売600円・当日700円 9:00~15:30
11/16 創立第58回記念茶会
本席(横の間) 席主：中山節玉
副席(松の間) 席主：茶道石州流琴松会
玉藻公園 1,100円 9:00~15:00

三笑亭賣茶流高松仙友会 ☎(087)833-0347

10/12 全国大会並びに高松仙友会発足75周年記念茶会
席主：高松仙友会
玉藻公園披雲閣 1,000円 9:00~15:30

石州流讃岐清水派石州会 ☎(087)898-6569

9/21 八兵衛茶会 席主：土居宗美
栗林公園掬月亭 500円 10:30~15:00
10/5 西徳寺月釜(東讃茶道懇話会)
席主：石原宗恵
池戸西徳寺 500円 9:00~15:30
10/19 宗関公342年祭記念茶会
席主：野口宗眞
席主：金丸宗洋・鎌田宗光・里野宗綱・松原宗順
玉藻公園披雲閣 1,100円 9:00~15:00
10/26 長尾静風会大茶会 席主：山崎宗寿
長尾寺 1,200円 9:00~15:00

東讃茶道懇話会 ☎(087)898-0391

<月釜> 池戸西徳寺 500円 9:00~15:30
9/21 月釜 席主：武者小路千家 佐々木博子
10/5 月釜 席主：石州流 石原恵子
11月 月釜 席主：表千家流 古賀敬子

武者小路千家香川官休会 ☎(087)851-2258

9/7 香川官休会月釜 席主：小池公子
無量寿院 600円 9:00~15:00
11/2 香川官休会月釜 席主：多田よう子
無量寿院 600円 9:00~15:00
11/3 屋島ライオンズクラブ50周年記念茶会
席主：高島守徹
玉藻公園披雲閣 1,000円 9:00~15:00
11/23 香川官休大会
玉藻公園披雲閣 1,200円 9:00~15:00

武者小路千家香川守静社 ☎(0877)62-1760

10/12 茶筌供養茶会
席主：武者小路千家 香川守静社中
総本山善通寺宸殿 500円 9:30~14:00
供養式 10:00~10:30(境内)
11/3 善通寺市文化祭協賛茶会
席主：武者小路千家 香川守静社中
善通寺鉢伏公園茶室 300円 10:00~14:00

高松市香南歴史民俗郷土館 ☎(087)879-0717

<由佐城月釜茶会> 第2研修室(和室)
前売400円・当日500円 9:30~14:00
9/21 席主：小倉宗貴(裏千家 熊野宗翠社中)
10/19 席主：真子宗博(表千家)
11/16 席主：藤川ハナエ(武者小路千家)

まちのシェーレ963 ☎(087)800-7888

9/26 朔月茶会 席主：中條 晴之、原 大策
ギャラリー 1,000円 12:00~18:30
全7席・各席10名要予約

栗林公園観光事務所 ☎(087)833-7411

9/13~15 第3回 秋の高校生大茶会
1席300円(入園料は別途要) 9:00~15:00

中條文化振興財団 ☎(087)826-3355

9/28 9月月釜 五人様茶会 5,000円
濃茶席主：表千家流 山地宗美
薄茶席主：表千家流 美澤宗包
11/1 正午の茶事・夜咄の茶事 25,000円
亭主：表千家流 蘇鐵庵 水守清隆
11/2 11月月釜 五人様茶会 10,000円
席主：表千家流 蘇鐵庵 水守清隆
11/30 十深庵 木津露真襲名披露茶会
上記財団の茶会はいずれも点心席を含みます。
詳細は、財団行事予定をご覧ください。

11/22~24 香川県漆芸研究所創立60周年記念 協賛茶席
席主：茶葉(中條晴之、原大策)
香川県文化会館2階展示室前休憩コーナー
500円 10:00~15:00(3日間とも)

イ ベ ン ト ガ イ ド

かまどホール ☎(0877)46-2178

11/8~30 豊澤英之、大志郎展 漆額、花瓶、器などさま
ざまな加飾技法を用いた作品展 10:00~

多度津町民会館 ☎(0877)33-3330

10/26 第8回多度津フェスティバル 9:30~
11/2 たどつ街角コンサート 9:00~

宇多津町生涯学習課 ☎(0877)49-8007

10月 もみじ茶会 倉の館三角邸 お茶券代300円
11/1、2 2014宇多津秋の大収穫祭 JR宇多津駅前
11/8、9 芸能祭 ユーブラザうたづ

宇多津町振興財団 ☎(0877)49-8020

9/27 青島広志の美しい歌の時間 ユーブラザうたづ
ハーモニーホール 14:00~

丸亀市文化観光課 ☎(0877)24-8822

~9/7 HOTサンダルプロジェクト2014 作品展覧会
「未来の収穫祭2014」
丸亀市生涯学習センターギャラリー 9:30~
9/21 Vol.19 MIMOCAゲートプラザ文化発信プロジェクト
「第6回丸亀ビッグバンドジャズフェスティバル」
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館ゲートプラザ 12:00~
10/19 丸亀城フェスタ 丸亀城 9:00~
11/16 丸亀ドイツ兵俘虜収容100周年記念 丸亀ドイツ兵俘
虜楽団の足跡を辿る音楽フェスト「2014ドイツ兵俘
虜収容所in丸亀」本願寺塔屋別院 11:00~
10/24 サカモトジャイ&山田やそ裕 Live in 丸亀城
丸亀城大手の門 18:30~

丸亀市文化協会 ☎(0877)24-8822

9/20~28 うちわに描こう絵画展
丸亀市生涯学習センター1Fギャラリー 9:00~
10/25~26 丸亀芸術フェスタ2014
丸亀市生涯学習センター3F大ホール 10:00~
<まるがめ文化芸術祭主催展覧会>丸亀市生涯学習センター
10/11~19 前期展 書・文芸展 1Fギャラリー 9:00~
10/25~11/3 後期展 絵画・写真・彫刻・工芸
1Fギャラリー 9:00~
11/2~3 生花展
4F講座室1・2・4、5F視聴覚室・小ホール 9:00~
11/3 お茶会 2F大広間 10:00~

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 ☎(0877)24-7755

~9/23 企画展「拡張するファッション」 10:00~
~9/23 常設展「猪熊弦一郎展のひのびと描く」 10:00~

~9/23の毎週日曜日 キュレーターズ・トーク 14:00~
9/21 「拡張するファッション」関連プログラム『ハギキに刺繍』
2階造形スタジオ 10:00~13:00~
10/4~1/18 企画展「猪熊弦一郎展 形がいっぱい」10:00~
10/4~1/25 常設展「猪熊弦一郎展」(仮称) 10:00~
10/4~1/18の毎週日曜日 キュレーターズ・トーク
14:00~
11/23 開館記念日 10:00~

丸亀市総合文化会館(アイレックス) ☎(0877)86-6800

9/7 臥風流吟詠詩舞踊大会 大ホール 9:00~
9/14 オカリナ・コンサート「風の音Fest2014」
小ホール 12:00~
10/4 川中美幸コンサート2014~人・うた・心~
大ホール 14:00~18:00~
11/1、2 あやうたふるさとまつり 市内各団体による舞台発表会、
文化協会作品展、菊花展、バザー等 全館 10:00~
11/9 シンフォニックウインズKAGAWA
第15回定期演奏会 大ホール 14:00~
11/15、16 第31回香川県高等学校総合文化祭演劇部門大会 県内高
等学校による演劇コンクール 大ホール 9:10~
11/23 綾歌吹奏楽団 第16回定期演奏会
大ホール 13:30~

丸亀市民会館 ☎(0877)23-4141

9/14 丸亀シティフィルハーモニックオーケストラ
第3回定期演奏会 大ホール 14:00~
9/21 丸亀 爆笑まつり2014 大ホール 12:00~15:00~
10/5 植松おさみの司会で歌うカラオケ大会・予選
大ホール 13:00~(参加料)●
10/16 米田空軍太平洋音楽隊-アジア パシフィック・ショウ
ケースコンサートin丸亀 大ホール 18:30~
11/3 国際交流ユースオーケストラ in MARUGAME
大ホール 14:00~

<丸亀市民会館まつり>

11/23 第1部：植松おさみの司会で歌うカラオケ大会
第2部：丸亀・水森英夫杯カラオケ選手権大会
入賞者コンサート 大ホール 13:00~(予定)★
11/24 水森英夫門下生 歌謡コンサート
大ホール 14:00~18:00~★

丸亀市立資料館 ☎(0877)22-5366

10/11~13/30 讃岐の前期古墳展 一快天山古墳の時代一
1階企画展示室 9:30~
10/19 講演会「快天山古墳と4世紀の讃岐」
2階ギャラリー 13:30~

11/15 ギャラリートーク(展示解説)
1階企画展示室 10:00~13:30~

あーとらんどギャラリー ☎(0877)24-0927

~9/14 北岡省三展 10:00~
9/26~28 神戸アートマルシェ
神戸メリケンオリエンタルホテル 11:00~
10/9~26 周豪展 10:00~
11/1~16 岡正和展 10:00~
11/20~30 リトルクリスマス展 10:00~

ぎやらい風 ☎(0877)86-2112

9/30~10/5 筆ペンで描く絵紙展Ⅱ
澤佳和(丸亀市在住)による展 10:00~

灸まん美術館 ☎(0877)75-3000

~9/2 妖精たちの水彩画展 9:00~
9/5~9 猫と道化の晩夏の宴 9:00~
9/12~16 陶ぐるーぷ2014展 9:00~
9/19~23 山野書道教室作品展 9:00~
9/26~30 安倍耕治 漆展 9:00~
10/3~7 五嶋信幸 作陶展 9:00~
10/10~14 第2回笑みの集い切り絵展 9:00~
10/17~21 日本五人展 9:00~
10/24~28 藤井洋子作品展 9:00~
10/31~11/4 柚木華風水墨画展 9:00~
11/7~11 MELGACUB展 9:00~
11/14~18 「妹背谷の漆」妹背谷に因縁する 9:00~
11/22~12/2 第24回チャリティー展 9:00~

わが家ギャラリー木きん堂 ☎(0875)63-4920

9/2~7 昭和レトロモダンアークセサリー猫待草展(白猫)
昔のビーや天然石を使ったアクリル等 9:40~
9/16~21 第4回アトリエワールド水彩展 当加チヤール
の先生と生徒による水彩画、Tシャツ等 9:40~
9/30~10/5 手描友禅倶楽部(山岡益子)
先生と生徒による掛軸・タペストリー・額等 9:40~
10/28~11/9 ちょっとお洒落な手作り色・いろ展(南の風)県内外
の手作り愛好家による洋服や布小物等 9:40~
11/18~23 秋のLady bird展 木工作品 9:40~

善通寺市教育委員会生涯学習課 ☎(0877)63-6328

10/11~19 第16回大西忠夫展
善通寺市美術館・大西忠夫記念館 10:00~
10/24~11/16 第31回善通寺市民文化祭

イベントガイド

香川県立ミュージアム ☎ (087)822-0002

- 9/5〜28 美術は友だち ミュージアム大コレクション展 Part2「もっとと秋」 9:00〜●
9/7 講演会 香川県立ミュージアムの面白さ ―イサム・ノグチ芸術と、新大分県立美術館からみて― 講演 13:30〜●
9/11〜11/9 古い道具と昔のくらし 常設展示室1 9:00〜●
9/15 絵の中の音が聞こえる 秋のマンドリン・コンサート 2階西ロビー 14:00〜●
10/15〜 アート・コレクション 9:00〜●
20世紀の美術 常設展示室2
香川ゆかりの作家たち 常設展示室4・5
10/18〜11/24 四国雲場開創1200年記念 空海の足音 四国へんろ展 9:00〜●
講演会 空海と四国へんろ (仮) 講演 13:30〜●
11/1 ワクショッ なりきり！イケメンの伝説 ―柘刈コッパの伝説― 13:00〜料金未定
2階西ロビー
11/9 講座 もうひとつの1200年 智証大師円珍と讃岐の雲場について 研修室 13:30〜●
11/13〜12/25 見て・知って・行ってみよう ふるさと島 常設展示室1 9:00〜●
11/15 高野山金剛流御詠歌コンサート「梵音遊行」 2階西ロビー 時間未定 ●
11/22 ワクショッ 讃岐提灯づくり 工作室 13:30〜料金未定

高松市美術館 ☎ (087)823-1711

- 8/23〜10/19 第3期常設展 常設展示室 9:30〜●
1室: うつろいアート・デルタ・藤原実明コレクションによるー
2室: 海と水辺の風景
10/10〜11/24 「エヴァンゲリオン展」 一般・企画展示室 9:30〜●
10/25〜12/27 第4期常設展 現代美術と漆芸 (仮) 常設展示室 9:30〜●

高松市歴史資料館(サンクリスタル高松) ☎ (087)861-4520

- 9/13〜10/26 第68回企画展「輝きの備前名刀展」 9:00〜●
11/8〜12/23 史跡・天然記念物指定80周年記念 企画展「屋島―保存と活用80年の歩み― (仮称)」 9:00〜●

菊池寛記念館(サンクリスタル高松) ☎ (087)861-4502

- <文芸講座>3階第1集会所 13:30〜●
9/6 「2013年度ノーベル文学賞受賞作家アリス・マンローの人生と作品をめぐって」 講師: 小竹由美子
10/4 「西行物語を読む(Ⅲ)」 講師: 石川 一
11/8 「ずいひつ・初歩の文章作法」 講師: 篠永哲一

高松市中央図書館 ☎ (087)861-4501

- 10/26〜11/2 第10回 高松市子ども読書まつり 絵本作家の講演会、おはなし会 (読み聞かせ)、手づくりおもちゃ、講演感想展示、調べる学習コンクール作品展 等 サンクリスタル高松 10:00〜●

香川大学博物館 ☎ (087)832-1300

- 10/1〜11/3 特別展「教授を魅了した大地の結晶―北川隆司鉱物コレクション200選―」 10:00〜●
11/8〜12/20 第14回企画展「屋島の自然と景観―史跡・天然記念物指定80周年記念― (仮称)」 10:00〜●

高松市生涯学習センター ☎ (087)811-6222

- 9/4, 11 古文書解読講座 江戸時代の日記を読む 講師: 野中寛文 (香川県立文書館資料調査委員会) 大研修室 13:30〜●
11/5 センター特別講座「人はなぜ高く昇ろうとするのか―世界遺産ケルン大聖堂とミラノ大聖堂から―」 大研修室 10:00〜●

玉藻公園 ☎ (087)851-1521

- 9/20〜21 瀬戸内生活工芸祭2014 園内全域
9/24〜26 第59回香川園風小品盆栽展 秋季展 披露園
10/24 披露園オリジナルコンサート2014 披露園
10/29〜11/1 高松盆栽大会2014 披露園

ミューズホール ☎ (087)833-0013

- 11/16 たっさーフラスタジオ 第3回発表会 12:30〜●
11/30 フラスタジオ メレオハ ホケ 12:00〜●

高松市文化芸術振興課 ☎ (087)839-2636

- 10/4, 5 たかまつ大道芸フェスタ2014 高松丸亀町商店街各所、サンポート高松 11:00〜●
<高松園分寺ホール>
9/20 相模橋句&大空伸行スペシャルライブ 14:00〜●
10/19 歌声ホール園分寺 14:00〜●
11/14 クロドチアリ公演 19:00〜●
<サンポートホール高松開館10周年記念事業>
10/5 子育て応援「マタニティコンサート」 対象: 妊婦さんと家族・友人
第1小ホール 13:30〜●
11/16 ユリアンナ・アヴデーエフ ピアノリサイタル 大ホール 14:00〜●
11/23 CONCERT FILE VOL.7 瀬戸フィルハーモニー交響楽団 (指揮 小林研一郎) 大ホール 14:00〜●

高松市文化財課 ☎ (087)839-2660

- 9/14 ひょうげ祭り 香川町浅野集落研修センター〜新池
9/23 田井の子ども神相撲 六萬寺 (高松市平丸町) 12:00〜●
9/20 「探究! たかまつ遺産 人・もの・場から高松の歴史と地域を考える」 南河内古墳と石清尾山古墳群: 河内一浩 (羽曳野市教育委員会)
高松市中央図書館3階視聴覚ホール 10:00〜●
石清尾山古墳群 現地見学会 (稲荷山姫塚古墳) 時間・会場未定 ●

<ふるさと探訪>

- 9/28 番町界隈の社寺を巡る (予定)
高松市埋蔵文化財センター集合 9:30〜●
長尾寺周辺を訪ねる (予定) 9:30〜●
11/23 特別名勝 栗林公園を歩く (予定) 9:30〜●
<史跡・天然記念物屋島指定80周年記念行事>
記念講演会: 長谷川修一教授 (香大)
高松市中央図書館3階視聴覚ホール 10:30〜●
記念講演会: 大久保徹也教授 (徳島文理大)
高松市中央図書館3階視聴覚ホール 13:00〜●
11/24 シンポジウム
サンポートホール高松第2小ホール 13:00〜●

(公財)大社教育文化振興財団 ☎ (087)-837-8186

- 10/14〜15 第3回宗家藤間流 八世宗家 藤間勘十郎 古典芸能の世界「新傳書大師明光」
フォトなまかなし会第2回写真展
サンポートホール高松 第一小ホール
14日 19:00〜、15日 13:00〜、18:30〜●

NHKふれあいギャラリー ☎ (087)825-0160

- 9/2〜7 水墨画教室展 西文人水墨画会 9:30〜●
9/9〜14 PHOTO ルミエール写真展 9:30〜●
9/16〜21 フォトなまかなし会第2回写真展 9:30〜●
9/30〜10/5 第32回香川風の会写真展 9:30〜●
10/7〜12 秋季はがき展 高松はがき絵同好会 9:30〜●
10/14〜19 第3回ばらとガーデンのカラー展 ばらとガーデン協会電覧ばらクラブ共催 9:30〜●
10/22〜26 秋のふれあいフェア2014 NHK高松放送局 9:30〜●
10/28〜11/2 NHK文化センター水墨画 墨彩画受講生展 9:30〜●
11/4〜9 筆耕教室作品展 工藤筆耕教室 9:30〜●
11/11〜16 第38回農業共済書写コンクール優秀作品展 香川農農業共済組合 9:30〜●
11/18〜23 「サクル・フカ」写真展 9:30〜●
11/25〜30 第9回SIC写真展 SIC(さぬきインターネットクラブ) 写真部 9:30〜●

高松三越 美術画廊 ☎ (087)825-0738

- 9/2〜8 中谷晃 洋画展 10:00〜●
9/9〜15 藤田嗣治とネコ展 10:00〜●
9/16〜22 成田康 洋画展 10:00〜●
9/17〜21 アートフェア in 高松三越 高松三越 (別会場) 10:00〜●
9/23〜29 山本正英 油絵展 10:00〜●
9/30〜10/6 木村元次 作陶展 10:00〜●
10/7〜13 世界の版画芸術 10:00〜●
10/14〜20 千住博 版画展 (第1週) 10:00〜●
10/16〜21 第56回 日本工芸会四国支部展 高松三越 (別会場) 10:00〜●
10/21〜27 千住博 版画展 (第2週) 10:00〜●
10/28〜11/3 日本画・洋画 小品展 10:00〜●
11/4〜10 川島政則 ステンドガラス展 10:00〜●
11/11〜17 ヨーロッパ装飾美術 10:00〜●
11/18〜24 加藤春樹 作陶展 (呈茶) 10:00〜●
11/25〜12/1 片岡球子 版画展 10:00〜●

かをり園 ☎ (087)821-5957

- 9/10〜14 古今茶湯総合展 恒例となりました新古茶道具五百余点を一同に展示販売致します (大特価コーナー設置) 御坊町福善寺2階 10:00〜●

桜ショッ高松店 ☎ (087)831-8866

- 10/4〜10 「小泊良 陶器展」 沖縄の人気作家、小泊良氏の作品展 10:00〜●

ギャラリーen ☎ (087)851-3711

- 9/18〜24 薄井 ゆかり 裂き織りバッグ展 杜のとなり 10:00〜●
10月 新宮 州三 木工展 ギャラリーen 10:00〜●
11/1〜5 池田 かつ 冬の帽子展 杜のとなり 10:00〜●
11/16〜22 水垣 千悦 作陶展 杜のとなり 10:00〜●

まちのシュレ963 ☎ (087)800-7888

- 9/20〜10/5 「あすの、暮らしとつくり手」 桃居・広瀬一郎氏がディレクションする、若手作家のうづわ展 ギャラリー 11:00〜●
9/23 上記関連イベント/トークイベント「広瀬一郎とつくり手たち」 店内カフェ963 17:30〜料金未定
11/15〜24 ふたもとの展 ギャラリー 11:00〜●
11/15〜24 器と料理展 小ギャラリー 11:00〜●

珈琲倶楽部 ☎ (087)823-0160

- 9/9〜28 大塚けんじのアート展 10:00〜●
10/4 フェリアード BossaNovaカ フェlive 13:30〜、16:00〜 (2回公演) ●
11/1〜16 草木染メッセジヤがいも展 10:00〜●
11/19〜30 55年の軌跡 澤田茂樹の木版貫注展 10:00〜●
10/16〜30 藤村英代と山口和馬の作品展 糸・皮・シルバー 10:00〜●

内町ギャラリー Tamamo ☎ (087)822-1037

- 9/15〜21 手造りの蔵 鈴丸 作家展 出展: 鈴丸 (手造家具、阿部敬司 (構造、伝統工芸士)、藤村英代 (組紐)、山口和馬 (皮革・ジュエリー) 10:00〜 (初日12:00〜) ●
10/9〜12 Karin Wagnerのフェルトアクセサリー (スイス) & イギリスのCraft Works 花のアクセサリーとイギリスのクラフトたち 10:00〜●
10/23〜26 小嶋博子 組み紐教室展 組物、組紐の展示 10:00〜●
11/6〜9 林泉・吉田はつみ 二人展 華麗なるシャポーと植物服 11:00〜●
11/11〜16 +mode The Exhibition of Artful Felt & Fine Jewelry 高松市の大西尚子と埼玉県の中島千咲、安宅希希による合同展 ショール、バック等展示 10:00〜●

- 11/18, 19 手作り大好き作品展 縫う、織る、刺す等の手仕事グループ展 9:00〜●
11/20〜24 蝶と華 漆作家 坂本征志が作った蝶と華のアクセサリー展 10:00〜●
11/25〜27 染織だま 太物キャパパン 出羽木綿や米沢木綿、保多織等18種の木綿・麻・ウール等の着物生地展 10:00〜●

高松市香南歴史民俗郷土館 ☎ (087)879-0717

- <2F市民ギャラリー>
9/6〜23 企画展「平成25年度道跡発掘調査速報展」 9:00〜●
9/27〜28 共催展「土遊会 陶芸展」 9:00〜●
10/5〜11/30 企画展「現代の日本刀展 (仮称)」 9:00〜●

高松市塩江美術館 ☎ (087)893-1800

- 9/4〜28 TOKYO SHIBUYA LOVERS meets Takamatsu 9:00〜●
10/2〜29 TOKYO SHIBUYA LOVERS 後期展 (仮) 9:00〜●
11/2, 3 指輪ホテル公演 時間・料金未定

高松市石の民俗資料館 ☎ (087)845-8484

- 9/7 フォークソンググラフィティコンサート エントランスホール 13:30〜●
9/9〜28 企画展「八栗だるま作家『漆原馬須雄・漆原千代』を偲ぶ〜牟礼の道楽道を訪ねて〜」企画展示室・エントランスホール 9:00〜●
9/19, 10/10 古文書を読む会 (5)、(6) 江戸時代の和歌等を読み解いて 講師: 加藤 優 (鎌田共済会郷土博物館・館長) 講座研修室 14:00〜教材費要
9/20 石の民俗資料館友の会ミュージアムトーク「四国道と牟礼」 エントランスホール 10:00〜●
9/27 石の民俗資料館友の会工作教室―風船張子を作ろう― 講座研修室 10:00〜●(先着約20名)
10/4〜11/3 企画展「石の里のアーティストたち『テーマ・庵治』Part13」 芝生広場 9:00〜●
10/4〜11/3 和泉良照石彫展 (仮) 企画展示室 9:00〜●
10/5 石の里のアーティストたち関連行事 SWJOジャズコンサート エントランスホール 14:00〜●
10/7 親子で歌いごう日本の歌百選 秋編 エントランスホール 18:30〜●
11/15〜24 染色すなご会作品展 (仮) 企画展示室・エントランスホール 9:00〜●
11/29〜12/7 共催展「師走展 (前期)」 企画展示室 9:00〜●

手造りの蔵 鈴丸 ☎ (087)898-7307

- 9/15〜21 手造りの蔵 鈴丸 作家展 作家: 藤村英代 (組紐)、山口和馬 (アクセサリー)、阿部敬司 (木工細工)、鈴丸 (手造り家具) 内町ギャラリーTamamo 10:00〜 (初日13:00〜) ●

土庄町教育委員会 ☎ (0879)62-7013

- 9/7 小豆島道徳音楽祭 土庄町立中央公民館 13:30〜●
11/1, 2 土庄町町民文化展 土庄町総合会館 9:00〜●

さぬき市志度音楽ホール ☎ (087)894-1000

- <New Artists Recital>
9/28 Vol.14 渡辺仁美ピアノリサイタル 14:00〜●
11/2 Vol.15 真鍋恵子フルートリサイタル 14:00〜●

とらまるパレットランド ☎ (0879)25-0055

- 〜11/3 テレビ人形劇の世界展 ミュージアム2F企画展示室 10:00〜●
9/14〜15 ひょうこりひょうたん島〜泣いたトラビゲの巻〜 人形劇場とらまる座 14日 13:30〜、17:00〜、15日 13:30〜●
11/1〜3 開催30周年記念行事 とらまる人形劇カーニバル2014 人形劇場とらまる座他 とらまる公園各施設

坂出市建設経済産業課にぎわい室 ☎ (0877)44-5015

- 9/7〜12 香風園観月会 香風園 18:00〜●
9/13 西行の白峯詣で再現ツアー (月明かり編) 坂出市観光案内所 18:00〜●
9/21 崇徳上皇850年忌法要
9/21, 10/19, 11/16 悲運の帝 崇徳上皇の足跡を追う 坂出市観光案内所 9:30〜●

坂出市民ホール ☎ (0877)45-1505

- 9/6 香川県文化協会西讃支部 第10回舞台発表会 10:00〜●
10/5〜11/30 第56回坂出市民芸術祭 時間は催し物によって異なる
坂出市民美術館 ☎ (0877)45-7110
9/4〜7 毎日児童生徒硬筆展 9:00〜●
9/12〜28 ふしぎなたね展2014 ―香川県産がいきなりアート展― 9:00〜●
9/12〜21 てんざらばら絵画展 9:00〜●
10/11〜11/3 現代版画会香川展 9:00〜●
11/8〜9 まなとピアフェスティバル 9:00〜●
11/15, 16 MOA児童作品展 9:00〜●
11/19〜23 香川県高文祭写真展 9:00〜●
11/27〜30 フラワーデザイン展 9:00〜●

鎌田共済会郷土博物館 ☎ (0877)46-2275

- 10/25 第4回公開講座「江戸時代の天文学と久米通賢の科学的業績」 講師: 中村 士 (放送大学客員教授) 2階講堂 13:30〜 (先着40名・要申込10/18迄)

かまどホール ☎ (0877)46-2178

- 9/6〜28 島田君子作陶展 30周年の節目展 10:00〜●
10/4〜11/3 大倉久喜 ぼっこり針作品展 10:00〜●

●は有料、■は無料、▲は参加料、★は整理券が必要です。(記号表示は判明したのみ)

「文化通心」第84号は12月1日発行です。次の期間(12月1日から2月末日)の情報を11月10日までにお知らせ下さい。☎ (087)826-2212

上記予定は変更する場合があります。

平成二十六年 第二十二回 財団賞決定のお知らせ

財団の文化活動奨励事業である財団賞に、本年度は、各市町村の教育委員会・文化協会等から個人・団体合せて六件の推薦をいただき、八月四日の理事会において、審議の結果、左記の二件に決定いたしました。

■ 中川 克英

（当財団理事 田井靖二氏・香川の茶室を考える会推薦）

数寄屋棟梁である中川氏は、三代続く棟梁の家系で、堂宮・茶室を中心に数多く手がけられています。古くから京都林泉協会に所属し、生前の重森三玲氏を知る数少ない会員の一人であり、八十六才になった現在も京都を定期的に訪れ、絶えず新しい知識を探索されており、茶道家からの質問や相談、茶室を知らない若い技術者の指導、玉藻城のボランティアに建築の基礎を教えるなどされ、先般出版の「探訪讃岐の茶室」においても、茶室建築の技を惜しみなく紹介していただき、茶室文化を絶やさぬようにと活動をされております。

■ 番屋御船唄保存会

（東かがわ市教育委員会推薦）

番屋御船唄保存会は、昭和五十年に設立し、大谷清水神社（東かがわ市大谷）の秋季大祭において御船「八幡丸」を出し御船唄を奉納しております。昔京都へ行く御座船の中で歌われていたと伝えられ、高松藩主の御座船の航海安全を祈って唄われていましたが、現在は、大漁祈願・航海安全を祈って唄われています。平成五年には老朽化した御船「八幡丸」を新造するなどして、御船唄を後世に継承すべく活動されております。

◎活動のご紹介

高校生茶道部交流茶会

官休庵青年部香川支部

去る七月二十六日（土）、私達官休庵青年部香川支部では公益財団法人中條文化振興財団 美藻庵・晴松亭にて昨年に引き続き「高校生茶道部交流茶会」を開催しました。

茶の湯離れが囁かれ嘆かれていた現代にその魅力を若き高校生茶道部の学生達と共有し、離れるより広がり深まればなあとの思いで。

当日は朝より、流派に関係なく香川県下の高校生茶道部員のみなさんが続々と集まって下さいました。みなさんには二つのグループに別れて頂き「薄茶席」と「茶室・茶庭の見学」とを入替えて行ないました。

「薄茶席」は、海をテーマとし、床には「よく考える子 心豊かな子 たくましい子」を掛けました。花は朝顔に実付きのオリブ、花入れは蟬籠。香合はハワイ土産のウミガメ、袱紗は菊地寛「郷里の風景」を。主茶碗は二八窯の高台廻りから蟹が割って出て来ているユニークなものを頂きました。水指は十二代理平「波に飛魚」。お菓子には、NHK「美の壺」でも紹介された三友堂「水しぶき」です。

「茶室・茶庭の見学」では、草履の履き方から腰掛け待合や露地の色々を解説

茶会おそるに足らず・茶室の秘密を解く

高松市の「まちかど漫遊帖二〇一四・秋編」の新企画として開催することになりました。お茶席は苦手という皆様に、気軽に参加できるように茶室を探検しながら、わかりやすく解説します。（定員十名程度）

日時は九月二十三日、十月十四日、十一月二十五日の三回。午後一時三〇分より料金は一五〇〇円（お茶席有り・保険料含む）所要時間は二時間です。お申し込みは下記の財団事務局までお願いします。



し体験して頂きました。もちろん蹲の使い方も体験して頂き、罫口から茶室へ席入り。床に「青松」を掛けた茶室で、その造りや材料などについて解説しました。そしてその後、立礼席にてみなさん一堂に会し交流会を行いました。自己紹介をしてから茶の湯に纏わるチーム対抗クイズ大会を行いました。青年部員からのヒントも参考に、くじ引きで決めたチーム内でワイワイと考えてひとつの答えを出して頂きました。

（青年部長 中村谷威之）

編集後記

平成二十三年 聞き書きという手法で、生の歴史の声を収録し「郷土史事典 笠居郷探訪」の第一版第一刷を発刊された高松市在住の立山信浩氏。好評ですぐに売り切れ、第一版第二刷を増刷。

その後、多くの方からのご指摘やご指示をいただき、さらに新たな内容を加筆し、今回 平成二十六年年度の当財団の助成文化事業として「増補 改訂版 郷土史事典 笠居郷探訪」が発刊されました。

一つの事柄を探して読んで見ると、それに関連した事柄が次から次へと展開していくおもしろさに引き込まれていきます。地図も添えられているので、地名などを辿りながら読むのも別の楽しさがあり、事典というより歴史書を読んでいる感があります。

「自由に、お好きに読んで下さい」との著者のおすすすめです。皆様がたにもお読みいただければ幸いです。

「声・情報お寄せください」

〒760-0017 高松市番町二丁目一―二
公益財団法人中條文化振興財団編集部
TEL (087) 826・3355
FAX (087) 826・2212
info@chujo-zaidan.or.jp